

15. 市内の施設（スポーツ・文化・医療・公園などの施設）

室蘭港エンルムマリーナ（絵鞆町）

平成4年(1992)4月にオープンしました。エンルムとは、アイヌ語で「突き出ている・頭」の意から「岬」を示す言葉で、一般公募により付けられた名前です。ヨットやモーターボートの収容能力は、海上で64隻、陸上で140隻です。

市民が気軽に利用できるセンターハウスは、国の民活法の適用を受けた全国で第1号の港湾交流研修施設で、世界のマリーナを紹介する展示ルームや研修ルームもあり、一般に貸し出しもしています。

開館時間 5月～10月 8時～18時（日曜日・祝日は、7時から）
11月～4月 9時～17時

休館日 木曜日(木曜日が祝日の場合は、その翌日)、12月30日～1月8日

B & G海洋センター（エンルムマリーナ横）

平成13年(2001)に(財)ブルーシー・アンド・グリーンランド財団が、地域の海洋スポーツの普及のために建設し、同16年に市に無償譲渡されました。各種ディンギーヨット、更衣室・シャワールームがあり、多目的ホールは貸し出しもしています。ジュニアヨット教室と社会人ヨット教室が毎年開催されています。

利用時間 9時～21時（ヨット...9時～17時、11月から翌年4月は休止）

休館日 木曜日（木曜日が祝日の場合は、その翌日）、年末年始



プロビデンス号
室蘭港来航200年記念碑

絵鞆臨海公園（白鳥大橋記念館 道の駅「みたら室蘭」横）

平成6年(1994)に完成。広さは17,000㎡で、エンルムマリーナに隣接し、海水と直に触れ合える親水護岸は、子供たちに大人気です。

灯台・クジラ・熱帯魚の形をした水飲み場やヨット・カモメなどがあしらわれたフェンス、ナナカマド・ツツジ・ヒガラの絵が入ったカラーブロックなどが青い海とマッチし、休日には家族連れなどで賑わっています。

また、平成8年(1996)9月には、プロビデンス号の来航200年を記念して室蘭市、北海道、室蘭ルネッサンスなどが参加し結成された実行委員会により、この公園内に記念碑が建立されました。（プロビデンス号の来航...9ページ、プロビデンス号知ろう館...97ページ参照）

祝津公園グラウンド（祝津町）

バックネットとサッカーゴールがあり、野球やサッカーなどの競技ができます。

開設期間 5月1日～10月31日 利用時間 9時～17時

テニスコート（祝津町、高砂町、崎守町）

市内には、3カ所のテニスコートがあります。個人利用は直接コートに申し込んでください。シーズン券もあります。

・祝津公園テニスコート	4面	開設期間	4月1日～10月31日
・高砂テニスコート	9面	利用時間	9時～19時（4月と10月は17時まで、5月と9月は18時まで）
・崎守臨海公園テニスコート	2面		

室蘭水族館（白鳥大橋記念館みたら 向かい）

昭和28年(1953)4月に北海道が水産業知識の普及などを目的に設置し、6月に開館した道内で最初の水族館です。同32年(1957)文部省の認可を受け、同37年(1962)、社会教育施設として市に移管されました。

観覧室には40面の水槽があり、シンボルフィッシュのアブラボウスをはじめ、道内や本州方面に生息する珍しい魚や熱帯魚など120種、約3,300点あまりが飼育されています。クジラの骨などの標本を展示したクジラ資料コーナーがあり、平成22年(2010)に設けられたクラゲ館も人気です。

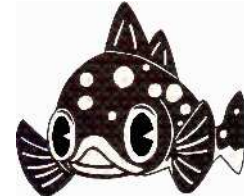
また、日本国内で初めてゴマフアザラシの繁殖に成功し、昭和47年(1972)4月、(公社)日本動物園水族館協会より繁殖賞を受賞しました。また、平成25年(2013)に国内で初めてニチリンヤナギクラゲの繁殖に成功したのに引き続き、翌年も国内初の青色ニホンザリガニの繁殖に成功しました。

観覧車や豆汽車、メリーゴーラウンドなど、各種の遊戯施設も備え、磯の生物タッチプールなどがあります。平成17年(2005)11月からは、指定管理者制度を導入し、民間の経営ノウハウを活用した施設運営が行われ、フンボルトペンギンの行進やトドのショーなども好評で、子どもたちに喜ばれています。開館期間中はさまざまな行事が行われ、同18年からは毎年連続で、年間入館者が10万人を超えています。

開館期間 4月下旬～10月中旬

利用時間 9時30分～16時30分（ゴールデンウィークと夏休み期間中は、17時まで）

水族館のシンボルフィッシュ
アブラボウス



日本で初めて、稚魚から成魚までの飼育に成功しました。

白鳥大橋記念館みたら（道の駅「みたら室蘭」、祝津町）

平成10年(1998)4月17日オープン。白鳥大橋の建設工事のあゆみや貴重な資料などを展示しているほか、室蘭港の紹介、白鳥大橋主塔からの景観を放映。また展望バルコニーからは白鳥大橋、風車、大黒島などの眺望が楽しめます。1階は174人収容のレストルームがあり、胆振の特産品や室蘭の土産品などの販売をしています。また、道の駅にも指定されています。

開館時間 9時30分～21時（11月1日から3月31日は、17時まで）（売店は、通年17時まで）

休館日 11月～3月は木曜日（木曜日が休日の場合は、その翌日）

4月～10月と12月31日～1月7日は無休

白鳥大橋パークゴルフ場（白鳥大橋記念館みたら 後方）

平成12年(2000)9月1日、白鳥大橋記念館みたらの横にオープン。36ホールコースは、間近に白鳥大橋を望み、潮風が心地よい絶好のロケーションです。子どもからお年寄りまで楽しめるコースで、18ホールのみナイター照明があります。有料で用具を貸し出ししています。

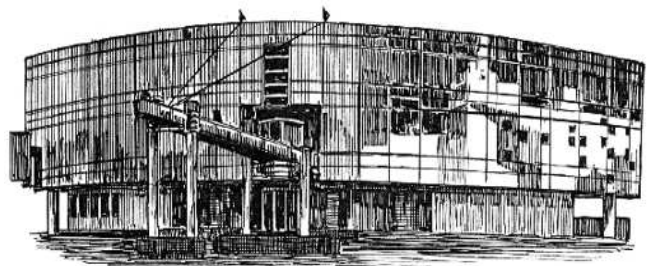
開設期間 4月21日～10月31日 利用時間 7時～21時

室蘭港フェリーターミナルビル

東日本フェリー(株)が、平成6年(1994)4月に建設。外観は、上から見ると白鳥、横から見ると帆船の形です。

平成20年(2008)11月のフェリー航路休止に伴い、同年12月に市に譲渡されました。

平成28年3月に、川崎近海汽船(株)が、宮古港と室蘭港を結ぶフェリー航路を平成30年6月に開設することが正式決定したことから、再活用に向けた改修などを行う予定です。



フェリー埠頭^{ふい}

室蘭港からは、青森港に平成20年(2008)11月まで、1日1便のフェリーが就航していました。平成30年6月からは、室蘭 - 宮古(岩手県)間でフェリー航路開設を予定しています。

中央埠頭旅客船バース

中央埠頭は、旅客船バースとして整備し、最大水深は9m、平成13年(2001)8月に使用を開始しました。客船の入港により、国内外の文化交流の場となっています。毎年大型客船が寄港し、大勢の乗客が市内や近隣の観光を楽しんでいます。

入江耐震岸壁

大規模地震が発生した場合の住民の避難や物資の緊急輸送などに使用される岸壁で、平成15年(2003)から20年3月にかけて、市街地に近接し、背後地域の幹線道路とアクセスの良い入江地区に整備されました。最大水深は、8mです。

旧室蘭駅舎(海岸町、国の登録有形文化財...34ページ)

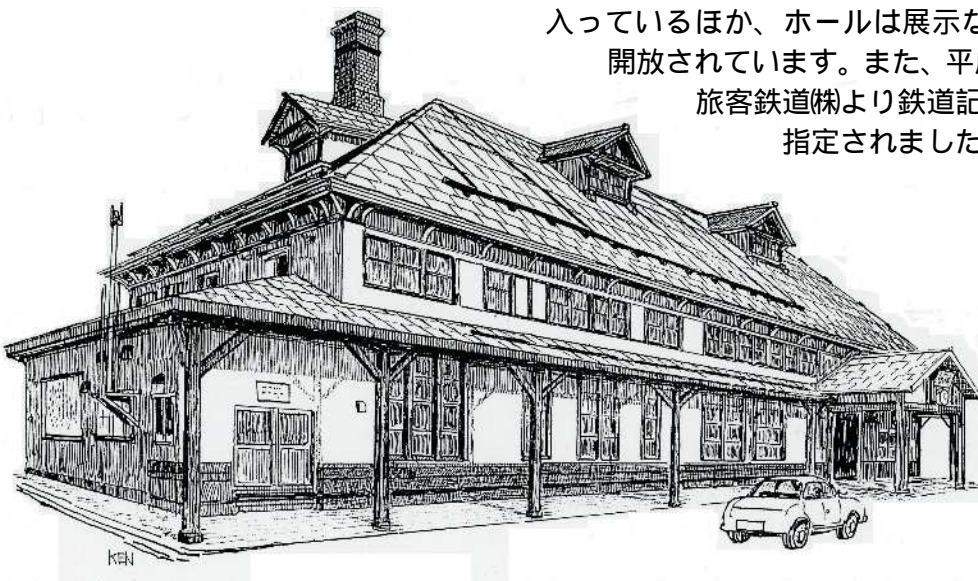
明治30年(1897)、輪西～室蘭間の鉄道完成により、仏坂下(中央町、現在の室蘭駅近く)に室蘭停車場として建設(初代)され、そののち同36年(1903)旧室蘭駅舎裏手の海岸町に移転(2代目)、同45年(1912)、現在地に新築(3代目)されました。

昭和54年、長年の風雪で傷んだ駅舎を改修しました。札幌時計台と同じく明治の洋風建築の面影を残す四方に屋根面が傾斜する寄棟造りで、緩い勾配の屋根には六つの三角破風(はふ)の屋根窓が取り付けられ、白漆喰の壁と木造部分のコントラストが美しい外観です。明治期の洋風建築のたたずまいを現在に残しています。外回りは入母屋風で「がんぎ」と呼ばれるアーケード様式になっており、それらを保存した全国でも珍しい建物です。

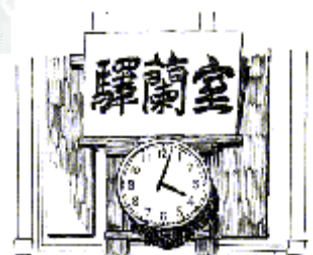
駅舎としては100年の歴史を持ち、道内駅舎の木造建築物の中では最古です。終着駅としてにぎわいを見せた旧室蘭駅舎は、平成9年(1997)に新室蘭駅(4代目)が完成し、駅としての役割を終え、翌10年に市へ譲渡されました。1年を通して、日没から24時まで、ライトアップされ、白く浮かび上がる駅舎は優美です。

平成11年には、国の有形文化財に登録。現在は、室蘭観光協会が入っているほか、ホールは展示などの会場として一般に開放されています。また、平成22年10月、JR北海道旅客鉄道(株)より鉄道記念物の準鉄道記念物に指定されました。

(室蘭駅...82ページ参照)



へんがく
入口の扁額



開館時間 8時～19時、(11月～3月は、17時まで)
休館日 1月1日

入江運動公園

昭和56年度から事業に着手したこの公園は、総面積18.1haで、第2種公認の陸上競技場、多目的運動広場、芝生広場(野外ステージ付)、子供の広場などがあり、平成6年(1994)10月には、温水プールも同公園内にオープンしました。



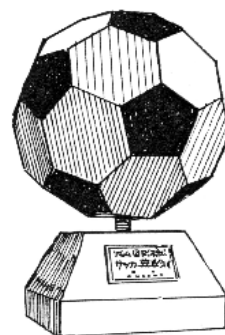
園内には、昭和62年(1987)、全国グッドトイレ10に入賞した、さわやかトイレ第一弾の「室蘭公会堂トイレ」のほか、「高架栈橋トイレ」「秋田屋電気鍋店トイレ」などがあります。また、道内の著名な彫刻家による、室蘭のシンボル彫刻像14点が並ぶ「シンボル彫刻像プロムナード」もあります。(多目的運動広場、芝生広場(野外ステージ付)の開設は、5月から11月まで)(さわやかトイレ...60ページ、シンボル彫刻像...57ページ参照)

入江運動公園陸上競技場 (入江運動公園内)

昭和63年(1988)から使用開始。トラック1周400mの全天候型トラック8コースの第2種公認陸上競技場、フィールド芝コート1面(7,314m²、69m×106m)で、各種陸上競技、サッカーなどができます。平成元年のはまなす国体では、サッカー競技の会場となりました。正面スタンドは一部屋根付きで1,000人、また、芝生スタンドは9,500人、バックスタンドには2,100人が収容できます。

開設期間 4月1日～11月30日

利用時間 9時～19時(4・10・11月は17時まで、5・9月は18時まで)



入江運動公園温水プール (入江運動公園内)

25m短水路8コースの日本水泳連盟公認の室内温水プールです。シンボルマークの「くじらん」が描かれている幼児用プール、低学年児童が大いに楽しめる児童用プール、日光が降り注ぎ明るい開放感のあるジャグジー(泡風呂)もあります。

開館時間 10時～20時

休館日 火曜日(火曜日が祝日の場合は、その翌日)、年末年始

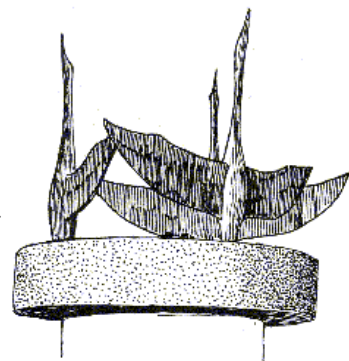
入江運動公園子供の広場 (入江運動公園内)

入江運動公園東側の約1haのスペースに、事業費1億7千万円をかけて建設されました。ちびっ子タウン、ちびっ子ファーム、水の広場冒険の山、三角の森などのプレーゾーンがあり、遊びを通して学べるように工夫されています。

入江臨海公園

港沿いにある公園で、港湾関係者の良好な労働環境の確保および地域住民と港湾との触れ合いの場になっています。ブランコや滑り台もあり、休日にはジョギングやウォーキング、散歩する親子連れなどが心地よい潮風を楽しんでおり、多くの市民に利用されています。

(展望台...27ページ参照)



市民活動センター (海岸町、港湾部庁舎1階ポートロビーいりえ内)

市民活動の拠点となる施設です。町内会・自治会や市民団体の情報の収集・発信、資料作成、打ち合わせ、他の団体との交流、活動紹介などに利用できます。

開館時間 10時～21時(土曜日は、17時まで)

休館日 日曜日、祝日、年末年始

むろらん広域センタービル（海岸町、旧室蘭駅舎隣）

市、商工会議所、金融機関、市内企業などの共同出資で事業主体となる「むろらん広域センタービル株式会社」を設立して建設し、平成21年(2009)2月に完成した官民複合施設です。市民利用度の高い市の窓口部門や道の税務部門、金融機関を1階に配置、また胆振総合振興局が道内ではじめて賃貸で入居し、官民の連携により、市民の利便性が高い施設となっています。

港の文学館（海岸町）

昭和57年(1982)から始まった文学館設立を目指す市民運動が実り、当初は「市立室蘭図書館附属文学資料室」として開館し、昭和63年(1988)10月に旧海員会館を改修してオープンしました。札幌市、小樽市に続く道内3番目の文学館です。室蘭の文学活動の歩みを集大成した公立民営方式の文学館で、運営にあたり室蘭文学館の会がボランティアで協力しています。

30,000点にのぼる資料の中から、室蘭出身の芥川賞作家、八木義徳と三浦清宏の生原稿や、そのほかの室蘭出身の作家や葉山嘉樹らの単行本などが展示されています。平成11年10月に「八木義徳記念室」が新設され、八木義徳から寄贈を受けた貴重な資料などが展示されています。このオープンを見届けるかのように、同氏は、その年の11月9日に亡くなりました。（八木義徳文学碑...46ページ）

平成14年(2002)には、作家としてだけでなく、コラムニストや漫画家としても活躍している室蘭ゆかりの長嶋有が、三人目の芥川賞作家として加わりました。

平成25年11月、室蘭駅に程近い旧ビアレストラン「プロヴィデンス」に移転し、「文学のまち・室蘭」の新たな拠点となりました。八木義徳記念室をはじめ、雑誌の創刊号などを収集した秀痴庵文庫、三浦清宏コーナー、長嶋有コーナー、市民展示室のほか、朗読会などのイベントに使用できるプロヴィデンスホールやカフェコーナーがあります。

また、旧文学館の敷地内に建立されていた棟方志功の板画碑は、新文学館の隣接地に移設されています。

（棟方志功板画碑...45ページ参照）

開館時間 10時～17時
入館料 無料
休館日 月曜日、祝日の翌日、年末年始



来館記念スタンプ

電信浜児童遊泳場（幸町）

並木凡平の短歌にも歌われているこの浜は、入江になっているため常に波が穏やかで、家族連れなどの磯遊びで、にぎわいを見せています。（並木凡平歌碑...47ページ参照）

また、電信浜の地名は、昔はアイヌ語の「ポンモイ」（小さい湾）と呼ばれていましたが、明治24年(1891)室蘭の対岸である砂原との間に通信省が、この浜から海底電線を敷いたことからこの名が付きました。

平成2年(1991)10月、電信電話記念日にNTT室蘭支店が、電話操業100年を記念して「電信浜地名由来記念碑」をこの地に設置しました。（高さ0.6m、幅1m、厚さ0.2m、黒御影石）

開設期間 7月下旬～8月中旬
利用時間 10時～16時

北海道立総合研究機構栽培水産試験場（追直漁港内）

平成18年(2006)4月に開設した、栽培から資源管理まで一貫して研究できる道内唯一の施設。マナマコの量産研究など、水産資源の調査、研究を行っています。また、追直(おいなおし)漁港では、「Mランド構想」の中核施設として建設された沖合人工島(通称:Mランド)が、増・養殖支援基地として、平成25年4月に供用開始されています。なお、市内には、追直漁港のほかにイタンキ漁港、絵鞆と崎守に漁港区があります。

室蘭市役所（幸町）

現在の庁舎は、旧庁舎が昭和27年(1952)12月15日に完成。その後、議会関係の新庁舎が同37年10月31日に完成しました。

文化センター（大ホール愛称：スワンホール、幸町）

昭和39年(1964)11月に開館した文化センターは、その後、管理棟やリハーサル室などを増築して現在に至っています。観客席数が1,307席ある大ホールのほか、リハーサル室、会議室などがあり、文化の殿堂として広い範囲で利用されています。

平成8年(1996)1月には、文化センターギャラリー（展示室）も新設され、市民の文化活動の発表の場として利用されています。

開館時間 9時～22時

市民美術館（文化センター内併設）

昭和54年(1979)からの美術館設立を進める市民運動が実を結び、平成20年(2008)10月1日に開館した美術館です。行政パートナーとして、長年にわたり設立運動を展開してきた「室蘭市民美術館をささえる会」が支援し、市民協働のもとで運営されているのが、大きな特色のひとつです。

展示室は、常設ギャラリーと芸術体験や市民の創作発表の場としても広く利用できるオープンギャラリーがあります。

所蔵作品は室蘭ゆかりの作家を中心とした絵画、彫刻、書、写真などで、これらの作品を年8回程度、展示替えを行い、常設展としてさまざまな角度からテーマを変えて紹介しています。また、毎年秋には全館展示による特別展を企画しています。その他、日曜画家展、市民ギャラリー展を開催し、美術創作愛好家に発表の場を提供するとともに、美術に関する体験学習も行なっています。

平成27年5月には来館者が12万人を超え、多くの市民が気軽に芸術文化に触れ、楽しめる施設として、親しまれています。

- 主な所蔵作家
- ・絵画 西村貴久子、伊藤正、熊谷善正、北浦晃、武田真、野本醇ほか
 - ・書 長谷川遅牛、加藤寿牛ほか
 - ・版画 佐野敏夫
 - ・写真 掛川源一郎
 - ・彫刻 高橋昭五郎、池田譲

開館時間 10時～17時

入館料 無料

休館日 月曜日、祝日の翌日、年末年始



開館5周年記念
来館記念スタンプ

武揚体育館（栄町）

旧武揚小学校の体育館を改修し、平成27年(2015)4月に開設しました。フットサル、バドミントン、バスケットボール、テニス、バレーボール、ミニバレー、武道各種目などが行えます。

開館時間 9時～22時30分 休館日 年末年始

常盤保育所子育て支援センターらんらん（栄町）

平成13年(2001)4月に、常盤保育所内に併設してオープン。親同士、子ども同士の交流の場として利用できるあそび場（ルーム）を開放しています。子どもの年齢によって利用対象となる日時が決まっているため、安心です。保育士が常駐し、さまざまな子育ての相談に応じるほか、親子講座の開催、子育てサークル・サロンへの支援なども行っています。

育児相談時間 8時45分～17時30分 休館日 土・日曜日、祝日、年末年始

図書館（市役所裏手、本町）

大正9年(1920)、開運町（現在の山手町）に室蘭区教育会所が室蘭区教育会図書館として開館した古い歴史をもち、同11年の市制施行により、翌年市に移管され「室蘭図書館」としました。何度も移転を繰り返し、戦時中は休館を余儀なくされた期間もありましたが、読書に対する要望が強く、昭和22年(1947)、当時常盤町にあった商工会議所の一室で再開。その後、室蘭図書館新築期成会が結成されたものの、資金不足により進展しませんでした。創業50周年となる株日本製鋼所室蘭製作所から新築資金1千万円が寄付されたことがきっかけとなり、昭和33年(1958)に建てられ、その後、昭和46年(1971)に児童室と3階が増築され現在の図書館となっています。

蔵書は、250,654冊(平成28年3月31日現在)、平成27年度実績で、年間利用者は68,124人です。平成24年(2012)1月から、室蘭市・登別市・伊達市の3市の図書館の図書を3市で発行した利用者カードで借りることができ、返却も3市のいずれの図書館でも、できるようになりました。

また、図書の検索・予約などはインターネットからも可能です。

市内には、分室として3カ所（白鳥台、本輪西、輪西）あり、昭和37年6月より開港90年・市制施行40年の記念事業として、自動車文庫「ひまわり号」が巡回運行しています。以来、市内33ステーションを隔週巡回し、平成24年には誕生してから50年を迎えました。

開館時間 10時～18時

休館日 月曜日、祝日（祝日が月曜日の場合は、その翌日）、年末年始
月末図書整理日、特別図書整理期間

本館のみ5月5日、11月3日、祝日が土曜・日曜日と重なった場合は開館。



・陶壁面(館内左手)

壁面右側が、新築の功をたたえる記。左側は、北海道窯業と陶磁工業技術および釉薬の研究により日本陶芸の発展に大きく寄与した作陶家、故・小森忍氏（1889-1962）による陶壁作品。新築された際に制作されたものが、今も残っている。

・ふくろう文庫（図書館本館3階）

ふくろうは、ギリシャ神話の学問・技芸・知恵を司る女神アテナの使者で、「森の賢者」と称されるなど、知恵の象徴とされています。

ふくろう文庫の蔵書は、平成11年(1999)12月、現在の「ふくろうの会」が、市民から人生の節目などの記念に寄付を受け、選書された美術書や画集、写真集など、貴重で高価な手に入りにくい図書を中心に、市民文化の知的財産を残したいという思いを込め「ふくろうの会」を通して図書館に寄贈されています。本には、ふくろうをかたどった蔵書票に贈り主の名前、贈る理由（誕生、追悼など）などを、記入して一冊ごとに貼っています。また、「ふくろう文庫」の蔵書公開展示には、「ふくろう文庫ウォッチャーズ会」の市民ボランティア22人が活動しています。

開館日時 図書館開館の木・土曜日の10時～16時（不定期）

青少年科学館（市役所裏手、本町）

昭和38年(1963)4月、道内に初めて開館し、平成25年(2013)に50周年を迎えました。入館者数は、平成27年度実績で40,318人です。

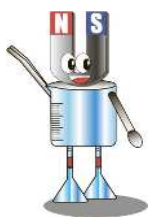
平成17年(2005)からは「みて、ふれて、つくって、なっとく」を合言葉に、理科教員などで構成する「NPO法人科学とものづくり教育研究会 かもけん」の皆さんが、指定管理者として、科学館の企画・運営を行っています。ユニークな手づくりの展示品やささまざまな体験ができるほか、職員「プロモ」が分かりやすく解説し、楽しみながら学べる科学を展示しています。天文と宇宙を再現するプラネタリウム室でも、音楽や朗読を聞きながら星空を鑑賞する取り組みなど、科学の宝箱として親しまれています。

また、小中学生を対象とした、科学クラブやロボットサッカークラブなどを主催し、体験型科学館として科学のおもしろさを子どもたちに伝えています。

開館時間 10時～17時（11月～2月は、16時まで）

休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合は、その翌日)、年末年始

春休み(3/20～4/5)・夏休み(7/21～8/20)・冬休み(12/21～1/19)期間中は、年末年始(12/29～1/3)の休館を除き無休



科学クラブの科学マン



むろたん



プラネタリウムのプラ



ムッピー

平成18年度に
公募で作られた
科学館キャラクター
を紹介するよ！

・今に残るSL（青少年科学館内）

北海道のSLの歴史は、昭和19年(1944)の702輻が最高で、その後は減少の一途をたどりました。そのSLも同50年(1975)、SL旅客列車としてはC57-135(愛称:貴婦人)が室蘭 岩見沢間を走ったのを最後に、また、翌51年3月の追分機関区で入れ替え用に走っていたのがSL最後の姿となり、全国からその雄姿を消しました。室蘭でも消え行くSLを長く保存したいという動きが高まり、昭和50年3月20日、苗穂工場から「D51-560」を借り受け、青少年科学館に常設展示しています。現在は「SL保存室蘭機友会」が、毎月1回整備を行い保全に勤めています。近年は、道内でも観光用に復活して走る姿も見かけられ、平成24年(2012)5月には、開港140年・市制90年を記念して、SLみなと室蘭140周年号(C11-207)が、室蘭 登別間を走りました。

市立室蘭総合病院（山手町）

明治5年(1872)元室蘭(現崎守町)に療所を開設したのに始まり、翌明治6年3月元室蘭に官立病院を開設し、同年6月に新室蘭に移転しました。改称をしながら、明治31年(1898)に港町72番地(現海岸町)から常盤町に移転しました。昭和26年(1951)火災により焼失のため建て替えし、昭和33年(1958)現在の名称となりました。

常盤町にあった病院の老朽化に伴い、平成9年(1997)2月に山手町に移転新築し、6月に開院しました。総事業費は約178億円。外観はアースカラーで統一し、病室や待合室も広くゆったりと造られ、駐車場は来院用に約300台分を確保しています。診療科目は全部で24科目。

最新鋭の医療機器や、医者からの指示が各部局に瞬時に伝わるオーダリングシステムや電子カルテシステムを備え、室蘭のみならず、西胆振の医療の中核を担っています。また、平成20年2月「災害拠点病院」に指定され、さらに平成25年(2013)4月には「北海道がん診療連携指定病院」制度の指定を受けました。

子ども発達支援センター（愛称：あいくる、母恋南町）

児童福祉法第6条に基づき、就学前の児童に対し日常生活における基本動作の指導、集団適応訓練などを行う[児童発達支援センター][児童発達支援事業所]、小学校から高等学校までの児童生徒に対し生活能力向上のために必要な訓練及び社会との交流促進を図る[放課後等デイサービス]、障がい児が集団生活を送る施設において集団適応のための支援を行う[保育所等訪問支援事業]、および障がい児が心身の状況や環境等に応じ自立した生活を送るための総合的な相談を行う[障害児相談支援事業]の5つの事業を行っています。

また理学療法士、臨床心理士による乳幼児期からの心身の発達に関する専門的な相談を行っています。

J E S C O 北海道PCB廃棄物処理施設（仲町）

PCB(ポリ塩化ビフェニル)は、昭和49年(1974)に製造や新たな使用が禁止されて以来、保管を余儀なくされてきましたが、現在は、全国5カ所の処理施設にて処理を行っています。

仲町に建設された北海道PCB廃棄物処理施設は、平成20年(2008)5月より操業を開始。処理対象地域は、北海道、東北、北関東、甲信越、北陸の1道15県に加え、平成28年(2016)4月より南関東1都3県からも一部の処理対象物を受け入れています。PCB処理情報センターでは、各種資料のほか、PCB廃棄物の模型などを展示しています。

開館時間 9時～16時30分

休館日 土・日曜日、祝日、年末年始

シルバー人材センター（みゆき町）

「仕事をしたい」という健康な高齢者が会員として登録し、それぞれの希望と経験、能力に応じて仕事を引き受け、収入を得ながら地域社会に貢献する団体です。毎年秋に市民への啓発事業としてシルバーフェスティバルを開催し、刃物研ぎなどの技術提供や製作した作品の販売などを通してPRしています。

青少年研修センター（みゆき町）

青少年の団体が、研究討議、軽スポーツ、レクリエーション活動などを通して自主性や創造性を養う施設で、收容人員は大研修室100人、中研修室60人、小研修室A・B各40人、C・D各30人となっており、青少年の健全な育成と青少年の活動の振興を目的に使用する場合は無料。それ以外は有料です。

開館時間 9時～21時

休館日 月曜日、年末年始

市民会館（ホール愛称：わにホール、輪西町）

輪西の中心部に、商業施設と連結した市民の憩う芸能・文化の交流拠点として、平成14年(2002)に新築され、500席あるホールのほか、会議室や調理実習室などがあり、図書館輪西分室も併設されています。さまざまなコンサートや市民の文化活動の場として利用され、駐車場も100台分整備されています。

開館時間 9時～22時

室蘭・登別保健センター（東町）

昭和59年2月に開設したこのセンターは、疾病の予知・予防と早期発見のため、最新の医療機器とコンピューターを使用し、多種多項目の健康診査を短時間でいう総合健診・成人病健診をはじめ、日常生活に密着した母子保健・健康教育・健康相談・衛生教育等の事業を実施し、地域住民の健康管理や地域保健活動の拠点になる施設です。

・臨床検査センター（1階）

室蘭市医師会(同センター1階)が運営にあたり、各医療機関から依頼される血液などを検査するため、血液生化学分析装置や多項目自動血球計数装置などをコンピューターと連動させ、検体検査のスピードアップと精度管理の向上を図り、各病院、診療所などの適切、迅速な治療と指導に協力しています。

・室蘭・登別総合健診センター（2階）

財団法人が運営にあたり、中高年齢層から増加の傾向にある成人病の早期発見に努めています。

健診は、最新の医療機器とコンピューターを使用し、多種多項目の健診を約3時間で行い、地域住民の健康の保持、増進に寄与しています。

・室蘭市保健センター（3・4階）

母子保健や成・壮年期の健康増進事業など、地域住民に密着した総合的保健施設。室蘭市健康推進課があります。

・つどいの広場（愛称：サンキッズ、5階）

平成22年(2010)11月に開設。冬期間や雨天時などの天候に左右されずに、無料で通年利用できる子育てのための屋内施設です。乳幼児とその保護者の交流の場として、気軽に利用できます。

室内には、親子で遊べる部屋や読書スペース、お弁当を食べられるランチルームがあるほか、子育てに関する相談や情報提供も行っています。

休館日 月・水・金曜日、第2・4土曜日（祝日、年末年始を除く）

開館時間 10時～16時

イタンキ浜海水浴場（東町）

昭和49年(1974)、市の要請に基づき道が沖合海底に離岸堤を設置し、完成と同時に、市は潮見公園の造成工事を行い、トイレ、シャワー室、更衣室、駐車場(680台)、管理室(海水浴シーズンのみ)を設置、同56年(1981)7月に海水浴場をオープンしました。

また、平成8年(1996)には、トッカリシヨ側の浜辺が、海の日(7月20日)記念の全国選定「日本の渚・百選」に選ばれました(道内では5カ所のみ)。夏場は大勢の市民や子ども連れでにぎわいます。

開設期間 7月下旬～8月中旬

利用時間 10時～16時

イタンキ生活館（東町）

アイヌ住民を対象に、生活文化の向上を図るため生活相談や生活改善指導などの事業を行う施設として、昭和57年(1982)4月に設置されました。

中小企業センター（東町、室蘭警察署隣）

昭和57年(1982)5月に開館した中小企業センターは、中小企業の経営向上と人材育成を図るための研修、集会、会議、催事などを目的とした施設です。

室蘭テクノセンター（中小企業センター隣）

最近の技術革新に対応し、室蘭地域の産業基盤を強化するため、昭和61年(1986)、中小ものづくり企業の支援機関として、産学官が連携して設立。主な事業として、技術・製品開発等支援事業、産学官連携支援事業、中小企業支援事業に取り組んでおり、地域中小企業の基盤技術高度化、省エネや市場開拓、新製品・新技術の開発など、さまざまなニーズに応えています。

胆振地方男女平等参画センター（愛称：ミンクール、中小企業センター併設）

胆振管内婦人活動の拠点として、婦人の教養を高め、婦人活動の充実を図るため、道内10番目の婦人会館として昭和56年に開館しました。研修や集会、調理実習のほか、多くのサークル活動や各種講演会などが開催されています。

平成18年(2006)4月に胆振地方男女平等参画センターに名称が変わり、男女平等参画活動の拠点として活用されています。

公設地方卸売市場（日の出町）

本市の東端、登別市の西端に位置する室蘭市公設地方卸売市場は、昭和43年(1968)に室蘭中央卸売市場として誕生し、平成21年(2009)10月に地方市場に転換しました。道内2番目に開設した歴史ある卸売市場で、温暖な気候を利用した地元西胆振地域の青果（野菜・果物）や噴火湾や太平洋の前浜でとれる豊かな水産物を中心に、白老町から豊浦町までの3市4町に向けて、道内外各地の安全・安心・新鮮な生鮮食料品などを扱っています。

東室蘭自由通路（愛称：わたれーる、東町）

JR東室蘭駅の東・西口を結ぶ歩行者専用道路で、平成19年(2007)4月開通。東口と西口には、エスカレーター、エレベーターなどのバリアフリー設備を備え、24時間通行が可能です。また、駅事務所に蘭東支所（愛称：えきがるセンター）を設置し、翌年5月から業務を開始しています。

障害者福祉総合センター（愛称：ぴあ216、東町）

障がい者の更生と社会参加を図るため、昭和63年(1988)4月に開設。各種の講座や打ち合わせのほか、ボランティア団体の育成、健常者との相互理解の促進など、障害者福祉を総合的に推進する施設です。施設の中には、集会所や研修室のほか、機能回復訓練室、医務室や視聴覚室などがあります。

国際コミュニティセンター（中島会館1階）

市民と外国人との交流の場として、平成7年(1995)6月に寿町に開設。その後、平成20年(2008)6月に現在の場所に移りました。国際交流を目的としたボランティア団体の活動支援やさまざまな情報を提供し、会議室スペースや資料コーナーなども備えています。

開館時間 8時45分～17時15分

休館日 土・日曜日、祝日、年末年始

中島公園

昭和37年(1962)に、本市初の運動公園(現在は、地区公園)として開設し、園内には体育館や野球場、ゲートボール場などを設置しています。トリムコースも設けられており市民に広く利用されています。

体育館 (中島公園内)

昭和45年(1970)に開館し、主競技場のほか、卓球場、トレーニング室などを備えた総合体育館です。平成20年(2008)4月に、主競技場床を改修しました。

開館時間 9時～12時、13時～17時、18時～21時

休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合は、その翌日)、年末年始

中島公園野球場 (中島公園内)

昭和37年(1962)に開設した、この野球場の収容人員は、内野席・外野席、各6,000人です。管理棟内に通年使用できる多目的室もあります。

開設期間 野球場...5月1日～10月31日

利用時間 5時～19時(10月は、6時～18時まで)

休館日 野球場...なし

多目的室...月曜日(月曜日が祝日の場合は、その翌日)、年末年始

室蘭市弓道場 (中島公園隣)

射場、的場(6人立)、更衣室があり、通年利用できます。

子育て相談ふれあいセンター (中島保育所内)

子育て家庭に対する育児不安などについての相談指導、親子遊びやサンデーパパなどの講座開催、子育てサークルへの支援のほか、保育情報の提供などを目的に平成7年(1995)に設置し、中島保育所内で、お母さんの育児支援の取り組みが行われています。

開館時間 8時45分～17時15分

休館日 日曜日、祝日、年末年始

中島スポーツセンター (中島本町)

平成18年(2006)7月から、市の指定管理者により運営されています。夏期はプール、冬期はスケートリンクとして開設し、学校授業や幼稚園などのレクリエーションをはじめ、市民のスポーツ振興の場となっています。

・プール 利用期間 5月 1日～9月30日
利用時間 10時～19時
コース 専用兼遊泳、歩行用、フリースペース、幼児用

・リンク 利用期間 11月 1日～3月31日(貸しスケート有り)
個人利用時間 平日...12時～18時、土・日曜日、祝日...10時～18時
休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合は、その翌日)、年末年始

サンライフ室蘭 (港北町)

昭和58年(1983)10月にオープンしたサンライフ室蘭(中高年労働者福祉センター)は、中高年労働者の雇用促進と福祉の向上を図るため、職業情報の提供を行う心身の健康保持や体力増進などのための施設です。各種器具を備えたトレーニング室、バドミントン、バレーボールなどができる体育室と研修室や和室があります。

開館時間 9時～21時

休館日 年末年始

移動式水素ステーション (港北町)

平成28年(2016)3月、燃料電池自動車に水素を充填することができる北海道唯一の移動式水素ステーションとして整備。本市および北海道の水素利用社会構築に向け、今後の活用が期待されます。

総合福祉センター（天神町）

高齢者や心身に障害のある人、母(父)子家庭の人の福祉の増進を図るため、昭和51年(1976)10月に開設。書道や茶道、手芸、囲碁、民謡、社交ダンス、カラオケ、ビリヤード、陶芸などのふれあい教室や同好会があり、平成18年度から音楽レクをはじめとする介護予防事業を行っています。1日平均169人(平成27年度、陶芸の家利用者を含む)が利用しています。

開館時間 9時～16時30分

休館日 月曜日、祝日(祝日が月曜日の場合は、その翌日)、年末年始

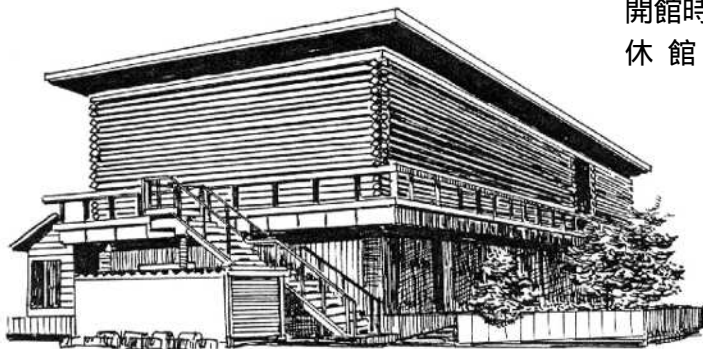
・陶芸の家

陶芸を通して健康と生きがいづくりを支援するため、平成4年11月に総合福祉センター内に設置。1日平均19人(平成27年度)が利用しています。

民俗資料館（愛称：とんてん館、陣屋町）

古くから天然の良港として発展してきた室蘭の歴史と郷土の文化財を保存するとともに、広く一般にさまざまな視点から公開展示して、青少年の歴史学習や社会教育活動に役立てるため、昭和55年(1980)4月に開館しました。国指定の史跡「東蝦夷地南部藩陣屋跡モロラン陣屋跡」に隣接する博物館相当施設で、考古資料を含む約31,000点の資料が収蔵展示され、特に続縄文期の資料が豊富です。

常設展示には開拓の歴史コーナーから港や産業の歩みまで、本市の歩んできた歴史が一目でわかるようになっており、季節ごとに体験学習などの催しも行っております。建物の外観は、校倉(あぜくら)作り様式で、資料館にマッチするように配慮しています。



開館時間 10時～16時 入館料 無料

休館日 月曜日、祝日の翌日年末年始

資料整理休館(1/20～3/19)

(年末年始の休館を除き、春休み・夏休み・冬休み期間中は無休)

愛称のとんてん館とは...

鉄を打つ音“とんてんかん”と屯田兵(とんでんへい)の音を掛け合わせ“かん”の音を館としました。

少年野球場（神代町）

昭和56年(1981)に建設された少年野球専用のグラウンドです。両翼74m、センターは89m、総面積25,000㎡の野球場で、グラウンド2面、管理棟、放送施設などがあります。少年野球を行う小中学生が優先ですが、使用しないときは一般も利用できます。

開設期間 5月1日～10月31日

利用時間 9時～18時

崎守臨海公園野球場

昭和55年に開設した敷地面積5,500㎡の野球場です。

開設期間 5月1日～10月31日

利用時間 9時～17時

白鳥の湯（白鳥台）

市営住宅団地住民の公衆衛生の確保を主な目的として、平成24年(2012)11月に市営共同浴場としてオープンしました。湯浴施設は内風呂、露天風呂です。こどもの日や敬老の日には、各年齢層を対象に入浴無料事業を実施し、市民に広く利用されています。

休館日 毎週火曜日

室蘭岳山麓総合公園（愛称：だんパラ公園、「家族団らんパラダイス」から命名）

室蘭岳山麓レクリエーション整備事業の一環として整備されたこの公園は、シラカバ林の中には、炊事場や野外炉、ログハウスイレなどが整備されたキャンプ場のほか、運動広場、イベント広場、遊び広場などがあります。自然学習の場として集会や研修ができる宿泊施設や体育館などの施設をはじめ、グラウンドゴルフ、パークゴルフ、パターゴルフ、ゲートボール、テニスなど軽スポーツに対応できる屋外運動施設など、自然とのふれあいや心身の休憩の場として楽しめる総合公園です。

屋外運動施設(有料) 使用期間 4月21日～10月31日
 利用時間 9時～17時(月によって終了時間が異なります)

室蘭岳山麓総合公園宿泊研修施設（愛称：サンパワー^{さんちまる}380）

だんパラ公園宿泊研修施設で、小・中の会議室や8人用宿泊室10室をはじめ、食堂、調理室、男女別の浴室などが設備されており、スポーツなどの合宿や各種研修の場として最適です。また、体育館だけの利用も可能です。

利用時間 入館時間13時から、退館時間12時まで
 宿泊料金 大人 1,900円(2,280円)、大学生 1,100円(1,320円) ()内は、11月から
 (1人1泊) 高校生 900円(1,080円)、小中学生 400円(480円) 4月までの料金です。
 休館日 12月29日～1月3日

だんパラスキー場

市民ニーズにこたえて、昭和62年(1987)12月オープンし、平成24年(2012)から、市の指定管理施設となりました。3人乗りリフト1基、平均斜度9度、ナイター照明の整った初級者用の第1コースと中級者用の第2コースがあり、なだらかな斜面は子どもや初心者が練習するのに最適です。

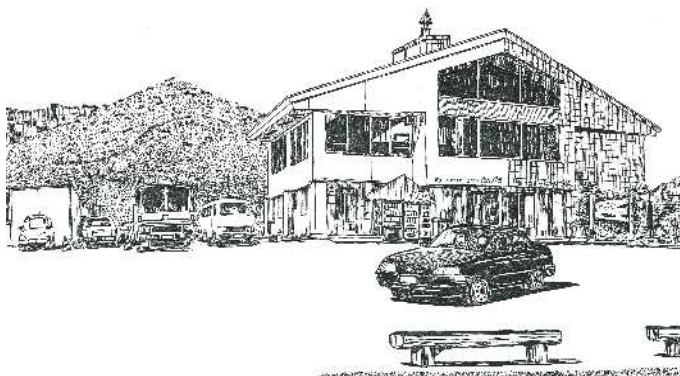
第1コースのリフト側には、ジャンプ台とウェーブを設置したスノーパークがあり、スノーボードに利用されています。

開設期間 12月下旬～3月中旬
 利用時間 9時～21時(天候などにより、終了時間が変更になる場合があります)

・山の駅ロッジだんパラ

だんパラスキー場にあるロッジで、1階はスキーやスノーボードのほか、ソリやウエアなどのレンタルを行っています。2階のレストランでは、ラーメンなどの麺類やカレーライスなどのメニューがあります。

レンタル営業時間は、スキー場の開設期間・利用時間と同様です。



レストラン 営業時間 11時～15時
 定休日 毎週火曜日
 (冬休みシーズンは定休日なし)

白鳥ヒュッテ

室蘭岳にある山小屋で、昭和24年(1949)に日本製鐵(現 新日鐵住金株)の山岳部が建設し、昭和43年(1968)4月に市に寄付されました。通年開設しており、管理人も常駐しています。30人程度の宿泊が可能です。

西いぶり広域連合最終処分場（神代町）

これまでの処分場が満杯になったのに伴い、平成6年(1994)に16億3千万円をかけて建設しました。自然環境に配慮し、浸出水が地下水を汚染しないように、処分場全面に遮水シートを張って、浸出水を集め、処理施設で浄化処理しています。また、このシートが破損したときのために遮水機能障害位置検知システムが設置され、いつでも破損の有無や場所を検知できるようになっています。埋め立ては、その都度覆土を行うサンドイッチ工法で、環境保全や埋め立て後の跡地利用も考慮されています。

平成15年(2003)4月に、室蘭市から西いぶり広域連合に承継されました。

エコロパ西いぶり（施設全体の総称、石川町）

西胆振地域廃棄物広域処理施設、西いぶり広域連合リサイクルプラザと西いぶり広域連合げんき館ペトトルの三施設があります。この三施設の総称を公募したところ、ecology(環境)とpark(公園)の頭文字をとったecolo-pa(エコロパ)に決定しました。

・西胆振地域廃棄物広域処理施設（愛称：メルトタワー21）

国が策定したダイオキシン類削減対策の新基準を守るため、広域連合を設立し、公設民営方式のごみ処理施設を建設。西胆振5市町（室蘭市、伊達市、豊浦町、壮瞥町、洞爺湖町）のごみの受け入れを行っています。平成15年(2003)4月より稼働を開始。

処理能力 燃焼・溶融処理設備 可燃ごみ210 t /日
不燃・粗大ごみ処理設備 不燃・粗大ごみ47.5 t /5時間

・西いぶり広域連合リサイクルプラザ

西胆振5市町（室蘭市、伊達市、豊浦町、壮瞥町、洞爺湖町）の資源物の中間処理と保管を行う施設。また、不要となった家具を補修し再生利用を進めるほか、環境やリサイクル関連の体験学習ができます。

処理能力 空き缶3.5 t /日、ガラスびん5.5 t /日、ペットボトル3.4 t /日
開館時間 10時～17時
休館日 水曜日(水曜日が休日の場合は、土・日曜日、祝日を除く次の開館日)、
12月31日～1月5日

・西いぶり広域連合げんき館ペトトル

西いぶり広域連合が設置する、ごみ処理施設からの余熱を利用した施設。温水プールのほか、体育館やトレーニング室なども備えています。多目的室は、別途使用料がかかります。

開館時間 13時～20時(専用利用は10時から可)
休館日 水曜日(水曜日が休日の場合は、土・日曜日、祝日を除く次の開館日)
12月31日～1月5日
ごみ処理施設から余熱提供ができない日

・キッズパーク

体を動かして遊べる「わんぱくルーム」と幼児でも安心して遊べる「ゆったりルーム」があります。保護者の交流の場としても利用できます。

開館日 火・金曜日 開館時間 10時～12時

チマイベツ浄水場（石川町）

昭和15年(1940)、チマイベツ川、ペトトル川を水源とする本市初の独自水道として完成し、上水道を給水していました。供用開始以来約70年余り稼働を続けてきましたが、耐震性が低く、施設全体の老朽化も進行していることから、平成22年(2010)11月に施設の全面更新が完了し、より安全で安心な水を供給しています。

地域交流センター（石川町）

平成14年(2002)11月1日、市内で唯一の酪農地帯、石川町にオープン。市街地と異なる環境のもと、市民の交流・学習の場として活用されています。センターには、集会室、料理研修室、多目的研修室、和室があり、バリアフリー構造になっています。

開館時間 9時～22時 休館日 年末年始